

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《新型コロナウイルス感染拡大による生乳需給への影響～家庭用消費は好調も業務用需要の激減で需給全体は大幅緩和に～》

・4/7に政府から7都府県に対して緊急事態宣言が出されるとともに、4/16には対象が全国に拡大されたことから、外食業界への影響はさらに大きくなり、業務用牛乳・乳製品の需要は大幅に減少している。また、臨時休校する学校数も増加していることから、計画されていた学乳向け生乳のほとんどが行き場をなくし、余乳発生に拍車をかけている。

・なお、以下に示すように、家庭内での牛乳やヨーグルト等の牛乳乳製品の消費は引き続き堅調な状況が続いているが、学乳や業務用需要の大幅に減少しているため、この需要減をカバーすることは不可能となっている。

・こうした中、乳業者にとっては、生乳処理能力を最大化するための取り組みにより、処理不可能乳が発生しないよう努力が続けられているが、北海道の生乳生産量が6月のピークに向けて増加してゆくタイミングも重なることから、乳製品向け生乳が全国の乳製品工場の製造処理能力を超えることになると、今後、処理不可能乳が発生する可能性も出てくる。

・特に、5/6までの緊急事態宣言がさらに延長され、こうした厳しい需給状況が長引くことになれば、現状の取り組みも限界となることから、業界で一致協力した需給調整ならびに消費拡大に対する強力な取組みの継続が必須である。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年1月～)の動向(表①参照)

・直近(4/13週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同116.2%、成分調整牛乳：同108.6%、加工乳：同97.6%、乳飲料：同109.3%。

・牛乳類トータルでは同114.0%と前年を大きく上回って推移している。

・販売単価は、牛乳：190.1円、成分調整牛乳：173.4円、加工乳：184.7円、乳飲料：150.9円。

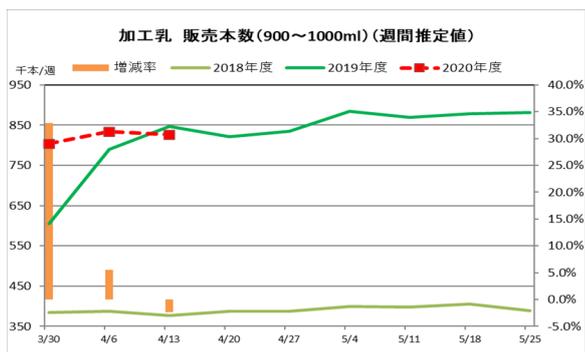
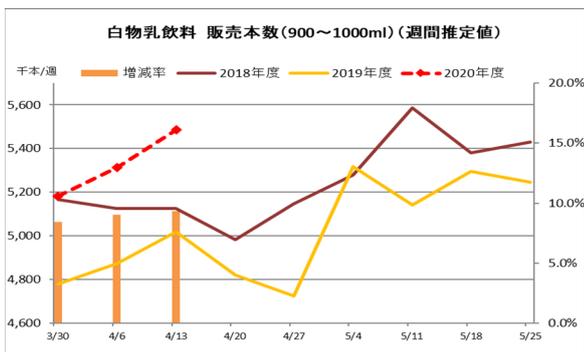
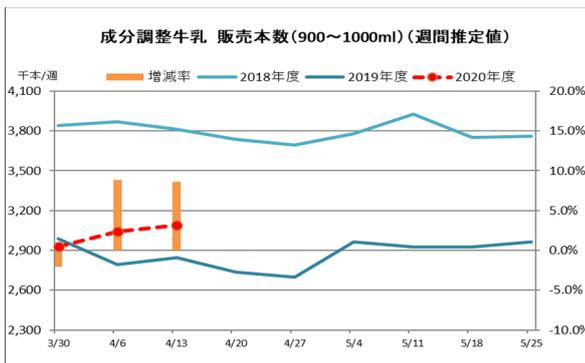
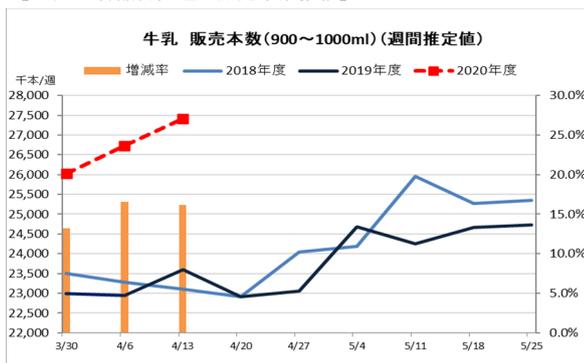
(2)引き続き、在宅勤務や一部地域での外出自粛・臨時休校の影響によって家庭内需要が増加しており、堅調に推移している。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	区分	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-
トータル	販売個数	30,740	30,915	30,916	30,863	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491	32,590	34,687	34,935	35,917	36,813
	販売個数前年比	101.8	100.5	102.1	100.7	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3	105.9	110.3	111.4	114.4	114.0
	販売単価	181.9	181.4	181.3	181.5	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9	182.0	182.3	181.9	182.5	182.7
牛乳	販売個数	22,670	22,800	22,782	22,760	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851	24,190	25,793	26,023	26,729	27,412
	販売個数前年比	102.6	101.1	102.7	101.1	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6	106.9	111.5	113.2	116.5	116.2
	販売単価	189.6	189.0	188.9	189.1	189.1	189.0	189.3	188.9	189.3	189.3	189.3	189.5	189.1	189.9	190.1
成分調整牛乳	販売個数	2,623	2,595	2,599	2,629	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817	2,756	2,902	2,927	3,040	3,090
	販売個数前年比	83.9	81.7	82.5	83.1	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4	86.4	89.2	97.9	108.8	108.6
	販売単価	172.8	172.8	172.7	172.6	173.0	172.2	173.1	172.6	173.7	173.3	173.4	173.9	173.2	173.5	173.4
加工乳	販売個数	731	738	729	734	716	734	714	796	755	767	741	805	804	834	827
	販売個数前年比	177.9	179.7	180.2	181.0	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9	182.5	190.0	133.0	105.5	97.6
	販売単価	183.2	182.5	182.3	181.4	182.1	182.0	182.2	182.8	182.3	182.7	182.8	184.7	184.6	184.1	184.7
乳飲料	販売個数	4,716	4,782	4,806	4,740	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056	4,904	5,187	5,182	5,313	5,485
	販売個数前年比	103.5	103.2	106.0	103.6	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5	107.6	111.6	108.4	109.1	109.3
	販売単価	149.6	149.8	149.6	150.0	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4	150.5	150.8	150.5	150.3	150.9

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年1月~)の動向(表②参照)

直近(4/13週)の販売個数は、ドリンクタイプ(100~250ml):前年同期比110%以上、個食タイプ(70~130ml):同100%以上、大容量タイプ(350~500ml):同110%以上。

(2)機能性ヨーグルトを中心に免疫カアップに対する期待や、外出自粛等の影響と考えられる家庭内需要によって、引き続き堅調に推移しているが、ドリンクタイプと個食タイプについては、前週(4/6週)より落ち着いた販売状況となっている。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-
ドリンクタイプ	↘	↓	↓	↘	↘	→	↻	↑	↻	↑	↑	↑	↑	↑	↑
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↻	↘	→	→	→	↻	↻	→
大容量タイプ	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↑	→	↻	↻	↻	↑	↑	↑



※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。

《その他参考情報》

・家庭用バターの消費動向について

外出自粛等による家庭内需要の増加やテレビ番組で取り上げられた効果によって、インテージデータでは直近(4/6週)の販売個数前年同期比155.0%と、前週(3/30週)141.6%からさらに増加している。

・新型コロナウイルス関連情報について(JミルクHPに掲載しております)

(1)「新型コロナウイルス感染拡大による生乳需給への影響と牛乳製品需要拡大のお願い」

<https://www.j-milk.jp/news/h4ogb40000003dss.html>

(2)「免疫力を高める」と題して、牛乳乳製品に関する情報を発信しております。

<https://www.j-milk.jp/knowledge/nutrition/h4ogb40000003azz.html>

・日本の牛乳を救う「プラスワンプロジェクト」緊急スタート

農林水産省は、酪農家を支えるため、牛乳やヨーグルトを普段より1本多く消費することを推進する「プラスワンプロジェクト」を4月21日より開始した。

農林水産省HP: https://www.maff.go.jp/j/chikusan/gyunyu/lin/dairyinfo_corona.html

メッセージ動画「牛乳乳製品課からのお願い」(外部リンク:YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=NIIPhHst-nU>